

分掌名		各分掌 今年度の取組目標と方策			
生徒募集	生徒募集	2024年度末在籍生 20名以上の在籍生を目指す。	4	2969名	
		2025年度 新入生 わせがく 10名以上の新入生獲得を目指す。	2	844名	
	2.5	エリア別会議年3回以上、全体会議年3回以上実施する。エリア別会議には生徒募集担当も積極的に参画し、情報交換や新規提案、学園全体で募集活動に従事する体制作りを目指す。 科目履修生50名以上の在籍を目指す（前後期合計）	5	100%	
	広報	HPの操作性向上のためリニューアルを行う。HP上での資料請求件数、学校見学会・個別相談会予約件数を合計3000件以上とする。	5	3160件	
		新聞・雑誌（印刷媒体）広告から、実効あるWEB広告への転換を継続して促進する。予算は前年度の水準を維持する。 通信制高校ナビ・ズバット通信制高校比較のアフィリエイト広告や、Google広告のリスティング広告等を時流に合わせて実施する。アフィリエイト広告では来校に結び付く質の高い問合せ者の獲得を目指し、3500件の問合せ	5	100%	
4	5	80553円			
教務	教務	新学習指導要領の理解と「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた教育活動に取り組み、探究活動の発表会を実施する。	5	実施	
		クラウドキャンパスを活用し、単位修得率を全体の96%にする。	5	98%	
		適切な評価のため、レポート・試験の作成と取り組み方を監督する。（成績、評価等に関するミス各教科2件以下）	1	50%	
		全体研修の充実を図る。（満足度80%以上）	5	92%	
	3.6	eラーニング教材を導入し、補習授業時間割にスタディサブリの時間を週1コマ以上設け、有効活用する。	2	80%	
メディア 図書委員	3	LibrariEを利用して、教員・生徒合わせて延べ4000冊以上本を借りる。 LibrariE図書日より年2回以上の発行	1	1647冊	
	夢育委員会	4	夢育newsを年2回、前期と後期に発行し、生徒一人一人の夢のきっかけとなるイベント・事業をそれぞれ100件以上紹介する。 生徒募集にもつながる夢育プログラムで参加人数を500名以上（うち中学生を100名）にする。	5	100件
		4	わせがくキャラクターの活躍の場を広げ、浸透させる。（年20回以上）	2	計 1116名（うち中学生39名）
3.8	留学委員会	5	アデレード短期留学と3回の事前学習会を実施する	5	3回
	5	2025年の留学先を決定し、その留学参加希望者数15名以上とする。	5	決定	
生徒指導	生徒指導	自立した個人として、他者を思いやり尊重する心や態度を育て、いじめ件数ゼロの学校を確立する。	5	0件	
		生徒指導上の理由による退学者ゼロを目指す。	4	1人	
		特別指導の対象となる生徒15名以下を目指し、予防的生徒指導を推進し、生徒の意識改革を図る具体的方策を考え、実践する。 不慮の事故や自殺などで、1人も生徒の生命が失われることのない環境を教育相談や関係各所と連携して作る。	1	28人	
	学校安全委員会	2.3	年間の各キャンパスの校内事故発生件数1件を下回るよう、事故減少及び防止への積極的な取り組みを目指す。 避難・防災訓練の実施。（多古本校・飯能本校は年間2回、その他校舎は年間1回以上）避難・防災訓練が実施できない校舎は防災・災害講話の実施をする。 学校備蓄品を無駄にしないよう計画的な消費・補充をおこなう。	1	26
	教育相談室	3	ケーススタディにおいて、計画・実行・評価の機能を充実させ、多角的な見方を通して生徒一人により多くの人が関わられるよう、チーム支援の拡充を図る。	3	キャンパス数 14/15
5		生徒掌握力の向上に向けて全体研修会や教育相談研修会など、より多くの教員が能動的に学べる校内研修を年2回は実施し、生徒対応の専門的・研究的要素を深める。 生徒状況報告を随時活用し、不登校傾向の生徒状況を全体的に把握しながら、不登校改善率80%を目指す。 不登校克服フォーラム等の校内外の教育相談研修会の参加を推奨し、知識・技能を身につけたスクールコーディネーターを1名育成する。	5	4回	
3.3	5	85.7%（改善率）			
進路指導	進路指導	4.7	4.5	3	75%
		5	5.5回（キャンパス平均）		
特別活動	特別活動	5	5	5	267人
		5	5	337校	
		5	5	96%（良い評価率）	
保健厚生	保健厚生	5	5	5	86.2%（参加率平均）
		5	5	5	87.1%（参加率平均）
1.7	1.7	職員による生徒の健康状態把握、且つ生徒自身による健康管理を行うために、健康診断・歯科検診の未受診者を在籍者の200名未満にする。（わせがく150・夢育50）	1	診断）373名（歯科検診	
		年間1回以上は保健指導を行う。 各校舎における感染症の流行・拡大を防ぐために、保健だよりを利用し感染症予防の指導を行い、年間出席停止者延べ数を1割未満にする。	2	キャンパス数 13	
			2	1.3割（出席停止者）	
			4.1		